

令和6年度使用西多摩地区町村立小学校教科用図書 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立学校教科用図書採択協議会

	生 活（東京書籍）	音 楽（教育芸術社）
内 容	<p>①児童が身近な人々、社会及び自然と関わる姿が、写真や挿絵で多様に示されており、自分の生活との関わりで捉えやすく、また、大きな意欲付けにもなる。</p> <p>②生活科で身に付けるべき資質や能力を発揮している姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで例示されている。</p> <p>③個別最適な学びと協働的な学びの実現ができるように、多様な学習活動例や表現例が示されたり、興味・関心に応じて活用できる資料がデジタルコンテンツとして掲載されたりしている。また、下巻には体験活動と表現活動を往還させ、さらに深い学びを実現する学習活動が例示されており授業改善の手掛かりとなる。（★）</p>	<p>【器楽領域】</p> <p>①第1学年の鍵盤ハーモニカの導入で、楽器の大きな写真や子供が楽器を扱っている様子の写真、図などで見開き4ページに渡り、取り上げている。最初に鳴らす「ド・ソ」の音には、鍵盤ハーモニカの大きな写真が示されており、ド～ソの音では、鍵盤の場所と指使いは挿絵で示されている。</p> <p>②第3学年のリコーダーを用いた最初の題材で、5ページ目まで楽器の各部分、姿勢、息などについて大きな写真や絵を入れて示されている。1つの題材でソラシドレの音を習得し、次の題材でリコーダーを含めた簡単な合奏や、2曲のリコーダー曲に取り組む。4つの題材に渡って、リコーダー奏を含む楽曲を段階的に指導する取扱いになっている。</p> <p>【音楽づくり領域】</p> <p>③第5学年リズムアンサンブルをつくる音楽づくりの学習では、見開きで4ページに渡り学習内容を展開している。和音を使った旋律づくりは、「静かにねむれ」和音進行でつくる。和音から音を選んで○の中に書いて旋律にする書式は、第3学年の活動から取り上げられている。ページの最後に、音楽づくりの何を振り返るかが書かれている。それらは、全ての領域において1学年分の教科書に通し番号で記載されている。（★）</p> <p>④第6学年では、「ボイスアンサンブル」と、「和音で旋律づくり」の2つが掲載されている。「ボイスアンサンブルづくり」は、鑑賞、合奏、音楽づくりの題材構成の中で行う。イラストの吹き出しに児童の反応の例が掲載されている。「和音で旋律づくり」は、器楽曲「雨のうた」で学習するイ短調の和音を用いて展開される。学習してきたことの積み重ねが生かされるよう、これまでの学年で取り上げられてきたのと同様の構成で、「音の上がり下がり」や「ワークシート」「つくった旋律の例」が示されている。（★）</p> <p>【歌唱領域】</p> <p>⑤第4学年の内容で、2部合唱に至るまで器楽や鑑賞を通して2声の響きが経験できるよう配慮されている。</p> <p>【鑑賞領域】</p> <p>⑥第1学年・第2学年の内容で、体を動かして鑑賞する楽曲がある。</p>
構成・分量	<p>①單元ごとにページの色分けがされ、各ページの左上に小單元名が書かれているため單元全体の構成の見通しについて配慮されている。</p> <p>②児童の発達段階や特性を踏まえ、関わる対象や育成する資質・能力などが、上巻と下巻で段階的に高まるように單元が構成されている。</p> <p>③上巻では教室から学校全体、自分の通学路へ、下巻では学校周辺から地域へと、児童の発達段階に応じて無理なく活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。（★）</p> <p>④対象と関わる時間を十分に確保できるよう、低学年児童の発達に配慮した取り組みやすい活動が、適切に適量で取り上げられている。</p>	<p>①6年間の学習が系統的に題材構成されており、発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み重ねられるように構成されている。</p> <p>②教材は、歌唱12、器楽9、音楽づくり2、鑑賞6（※第6学年）で配置されている。（★）</p> <p>③学習の目標が大きく示されている。</p> <p>④各学年とも巻末に振り返りのページ（※第6学年 32ページ）があり、学習内容の確認ができる。（★）</p>
表記・表現	<p>①小單元名や本文、やくそく、マーク、記録カードなどは、原則として、定位置に配置されている。（★）</p> <p>②点やはらいの形状を保ちながら、強さの強弱を抑えた、教科書専用のユニバーサルデザインフォントを使用している。また、強い色彩の使用を避け、紙面は落ち着いた淡い色調で統一されている。</p> <p>③児童向けのすべての文章が、文節で分かち書きされている。</p>	<p>①リコーダー運指表:第3学年カタカナでドレミ表記あり。</p> <p>②写真表記等:全ページ見開きで完結するため、持ちながら立つことができるようになっている。</p> <p>③第3学年リコーダー:トーンホールに対して指番号がある。（★）</p> <p>④第3学年リコーダー:座った姿勢の写真がある。（★）</p> <p>⑤第1学年鍵盤:鍵盤図に階名表記が段階的に示されている。</p> <p>⑥第1学年:音の高さについての視覚的な図には「風船」で表記されている。</p>
使用上の便宜	<p>①イラストや写真が多く、文字が大きく掲載されている。</p> <p>②上下巻の巻末に生活科で身に付けるべき習慣や技能について学ぶことができる「かつどうべんりちょう」のページがあり、日常生活から中学年以降の学習にも活用できる「学び方」を掲載している。（★）</p> <p>③二次元コードが所々に掲載されており、児童や教員が簡単に活用することができる。</p>	<p>①リコーダーの運指表について、第3学年～第6学年で巻末のまとめページに記載されている。掲載音は学年を通じて同じ。（★）</p> <p>②巻末について、振り返りのページがある。</p> <p>③二次元コードについて、教科書の内容と同じものや、リコーダーの指使いと音を確認できる。歌唱・器楽領域の範奏や鑑賞曲の主な旋律が聞ける。音楽づくりで使用する、デジタル教材を読み込み、児童のPCで操作できる。又、つくった楽譜の音声を再生できる。（★）</p> <p>④ねらいについて、全ての教材に明示されている。</p> <p>⑤題材名について、子供が学ぶことやできるようになることを具体的に表記している。</p> <p>⑥学び方の例示について、「思考判断表現」「知識」「技能」の3つの観点に分けて表示されている。</p>